

令和6年第9回浅口市教育委員会議事録

1. 招集日時 令和6年8月9日（金）

2. 場 所 浅口市中央公民館第3会議室

3. 開 会 午前9時30分

4. 閉 会 午前11時00分

5. 出席者 中野留美 高戸崇 藤澤弘幸 佐藤賢次 河野由美子

6. 説明のために出席した者の氏名

教 育 次 長	難波勝敏	理 事	竹本好之
教育総務課長	大島永太郎	学校教育課長	池田一成
保育未来課長	平松直美	ひとづくり推進課	佐藤秀志
金光分室長	中嶋利恵	寄 島 分 室 長	山本峯廣
学校給食センター所長	安原直子		
教 育 総 務 課	平井恵美子（事務局）		

7. 傍 聴 人 なし

8. 議 事

日程1 議事録署名委員について
浅口市教育委員会会議規則第29条により佐藤委員を指名。
(了承)

日程2 会期について
本日8月9日の1日会期。
(承認)

日程3 議案第32号 準要保護の認定について
※非公開
(学校教育課長)
新規申請分1件について、資料により説明。

(教育長)

1 件認定とする。

(承認)

日程 4 議案第 33 号 令和 7 年度使用特別支援学級教科用図書の採
択について

※非公開

(学校教育課長)

資料により説明。

(承認)

日程 5 議案第 34 号 教育に関する事務の管理及び執行状況の点
検・評価について

(教育総務課長)

資料により説明。

令和 5 年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価
報告書について、4 月の教育委員会会議にて素案を各課より報
告した。その時に、目標達成率 90%以上が「A」であり、100%
じゃないと「A」ではないと思われぬように、とご意見を頂
き、各課で評価を再確認している。素案からの変更とした部分
があるため、担当課より説明する。

(学校教育課)

資料により説明。

基本事業「心の教育の推進」について、取り組み状況や指標を
確認し、自己評価を「A」と見直している。

(ひとづくり推進課)

資料により説明。

基本事業「歴史・文化的資源の保全・活用」について、文化財
等の維持管理についての部分であるが、取り組み状況や指標を
確認し、自己評価を「A」と見直している。

(教育長)

素案から変更し、評価委員会で評価いただいている。評価委員
からの評価について教育次長を指名する。

(教育次長)

資料により説明。

評価委員会を 2 回開催し、評価委員からいただいた総合評価に

ついて説明する。

(教育委員)

総合教育会議の位置づけについて今後の課題としたいとあるが、具体的なことが分かれば教えて欲しい。

(教育長)

評価委員会では特に話題に上ることはなかった。

(承認)

日程 6 諸般の報告について

(理事)

7月26日に、浅口市と一般社団法人ファジアーノ岡山スポーツクラブとの間で寄島中学校の運動場部分等の貸付契約を締結した。グラウンドの工事は、お盆明けから着工する予定と聞いている。中学校の生徒の学校生活に支障がないよう、安全第一で工事をお願いしますと申し入れをしている。

(教育総務課長)

寄島学園の施設整備に関する進捗状況について、本格的に工事に着手しており、工期は、令和7年2月19日までである。大きな音が出る等、児童に影響がある箇所は、基本的に夏休み、冬休みに行う。また、児童生徒の安全を第1に考え、警備員を必要な箇所に配置している。授業に支障がないよう、令和7年4月の義務教育学校の開校に間に合うよう先生方と連携を密にし、全力で取り組む。

(教育長)

夏休み中に職員室を工事するので、職員室等の引越しを現在行っており、2学期までに戻す予定である。

(学校教育課長)

寄島学園の特色について。以前から教育委員会会議や総合教育会議にて議論していただいていた、アクティブクラブについて、子どもの減少が進む中、活動の選択肢が減ったり、子ども同士の触れ合う機会が減ったりしているという課題がある。子どもたちが自分の地域で興味関心に合わせた活動を仲間や地域の方と共に行うことができれば、課題克服や地域の活性化にもつながるのではという声が学校運営協議会から上がっていた。アクティブクラブという名称は、まだ仮称である。先日の学校運営協議会での協議では、前向きで、地域と

しても学校運営協議会としても今後より良い形にしていきたいということであった。現段階の案は、水曜日の放課後、中学生は部活がないので、学校の後の時間を活用し、対象は5年生以上を考えている。活動の内容は、文化に触れることができる内容を選択できるようにし、地域人材や高校・大学と連携しながら、人材等検討している。イングリッシュクラブ、スポーツクラブ、自然体験クラブなど設定し、子どもが興味関心に合わせて選択し、活動できるようにしたい。運営の方は、まだ協議中であるが、学校の教育ではなく、社会教育で考えている。現在は学校運営協議会が中心となり、協議を行っている。寄島学園で子どもたちの笑顔、楽しい声が響く姿を目指している。

(教育長)

今後、学校運営協議会と地域学校協働活動と話をしながら詰めていく。こういったことが寄島学園の活動としてできたらよいと思っている。

(教育委員)

関係ないかもしれないが、部活動は、中学校1年生からしか入れないのではなく、小中一貫になったので、例えば、スポーツクラブとか自然体験クラブとかをわざわざ部活動の休みの日にしなくても、部活動によっては、小学校からしてもよいのではないか。地域の活性化ということも想定するなら、学校活動の中で地域の誰かが入ってということになるか。

(学校教育課長)

部活動については、現段階では活動自体は7年生から9年生からするという意見もあった。

(教育長)

5年生からするという意見もあり、今後検討していく。

(学校教育課長)

5年生以上が体験のような形で活動に参加するという意見はある。まだ決まっていない。

アクティブクラブは教育課程以外のところでやるというところに一つの意味がある。放課後なので、学校の教員は基本的に関わらない。地域の方が主体になって運営し、高校・大学との連携をしながら、子ども達にとって意欲的な活動ができたらと考えている。今は環太平洋大学からは参加の声をいた

だいており、そういったところから地元と連携ができれば、幅広い意欲的な活動ができるのではと思っている。

(教育長)

部活動は、地域移行の動きもあり、吹奏楽、バレー、卓球、野球の4つは継続していく。体験として、5、6年生もできるが、試合には出ることができない。

アクティブクラブは、水曜日の放課後の時間を使って、子どもたちの希望によって選択し、活動をするものである。

(教育委員)

寄島学園の特色を打ち出すために色々工夫していることが分かる。教育課程内で特色を出す取り組みで今検討しているものはあるか。学校の先生が中心となって検討しているとは思いますが、カリキュラムでいかに寄島学園の特色あるものにしていこうとしているのか。学園としての教育目標や教育課程内のことを教えて欲しい。

(教育長)

総合的な時間については、以前からの特色を継続している。小中連続したカリキュラムとなっており、それをブラッシュアップしているような現状である。

(教育委員)

幼稚園、保育園、小学校、中学校とあり、大学との連携等含めてさらに発展させていただきたい。

(学校教育課長)

1年生から9年生の子どもたちが同じ学び舎で過ごすところが義務教育学校ならではのあり、その子どもたちが幅広い学年と関われるような行事、学習で特色を打ち出して行く。4・3・2制を意識しながら、活動しているので、そこが義務教育学校ならではの特色となるので、今学校の方も考えている。

(教育委員)

これを進めていく上での課題としては、社会教育としていくとすれば、強制ではない。本人の希望ということで進められると思うが、多くの子どもが参加できるような何らかの方策を今考えているのか、あるいは今後考えていこうとしているのか、そのあたりで何かあれば聞きたい。

(学校教育課長)

その対策については、これからであるが、まずは学校で講

座を行うということである。公民館等になると子どもたちが家に帰ってから行くようになる。すぐそのままクラブとなるので、それが一つ参加しやすいのではないかと考えている。もう一つは内容だと思っている。子どもたちにとって、魅力がある活動、学校には既に教育課程内でクラブ活動あり、年10回ぐらいある。調理クラブや科学クラブは子どもたちが大好きであり、楽しく活動している。そういうふうに子どもたちがわくわくできる内容を設定し、行きたいと思えるような場所にぜひしていきたい。だからこそ選択できるような形がよいと思っている。

浅口市児童表彰規定について、前回の教育委員会会議で紹介したが、今までの児童表彰であるきらきら賞とは別に、新たな児童表彰である、浅口市 ALL キラリ☆AWARD について、表彰趣旨は、義務教育段階で1人1人のよさやがんばりを認めることで、学校や家庭での生活での子どもたちの意欲や自信の向上を図り、浅口市の未来を支える人材の育成を目指すものである。ポイントは1人1人のよさやがんばりを認めることである。表彰される児童は、浅口市に在住する第4学年の児童全員である。各学校から推薦書を出してもらっている。

(教育委員)

きらきら賞と同じような表彰方法か。

(学校教育課長)

推薦書に学年目標の記載があるが、学年目標を子どもたちに表彰をする前に紹介し、学年の紹介をしたい。

(教育委員)

1人1人のよさを認めるというのは、簡単なよう難しいことだと思う。よさやがんばりを明示することも難しいと思う。学校によって表彰の言葉にもばらつきがあり、個人を思って書いたものもあれば、失礼ながら、当てはめたものかなという学校もある。今後の課題かと思う。学校にももう少し丁寧に説明をし、内容等もう少し沿ったものであったらと思う。

(教育長)

改めて、子ども達のよさを見ようとするいいきっかけにもなったと思う。

(保育未来課長)

ひんやりルームについて説明。、天草体育館のミーティングルームとアリーナの一部を無料開放し、親子の遊び場の提供

をしている。期間は、7月2日火曜日から8月30日金曜日まで。利用状況は、7月2日から7月31日まで実質の利用日数は18日で、のべ大人37名、子ども61名の計98名利用があった。

(ひとづくり推進課)

8月17日、18日に天草のビッグハットふるさと鴨方プラザでドローンフェスティバルを開催する。全国トップクラスのドローンレーサーがビッグハットにて国内トップレースを行う。それに合わせてフェスティバルということで、18日の日曜日には浅口マルシェを同時開催する。また、9月からドローンレースクラブを設立する予定にしている。現在クラブ員を募集している。

7月23日から26日で夏GAKUサプリをそれぞれの公民館で開催した。詳細についてはそれぞれの分室からも報告をするが、ひとづくり推進課で行った中央公民館では、29教室に対して延べ小学生が434人、講師が53名、ボランティアが33名が集まり、合計520名の参加であった。今年特色のあるものは、モルックという競技を初めて行った。

(金光分室長)

8月初旬に金光地区学校運営協議会の熟議の会のワークショップを金光公民館で行った。「育とう、育てよう金光の子どもたち」というタイトルで開催した。8月4日から31日の日程で、金光公民館2階展示ホールで展示している。

夏GAKUサプリは、金光公民館では、14教室、217名、学生ボランティアが46名、鴨方高校34名、おかやま山陽対高校、金光学園それから金光中学校のあの生徒の皆さんが、参加してくれた。

(寄島分室長)

夏GAKUサプリについて、寄島公民館では7講座、121名の参加であった。指導者は地域ボランティアと中学生のボランティアを含めて全体で41名であった。

(学校給食センター所長)

2学期は8月26日から給食を提供する。

日程7 その他について
特になし。

次回教育委員会議

定例会 令和6年9月13日（金）9時30分から

令和 6 年 9 月 13 日

浅口市教育委員会

教 育 長 中野留美

委 員 佐藤賢次

作成職員 平井恵美子